

て お こもの 手織りで小物づくり

織り機はダンボールなどを使って自作することもできるよ。基本の作り方を覚えたら、色んな織り方に挑戦しよう！説明書だけでは作り方がわかりにくい場合は、ぜひ動画を見ながらやってみてね。アイデア次第で、色々な小物が作れるよ。



●使うもの

教材の材料：織り機、そうこう、プラスチック針、クリップ、毛糸

おうちで用意するもの：はさみ

★織り物ってなに？

糸をたてと横に組み合わせて作った布のことだよ。みんなの持っている洋服やハンカチなど、よく見たらたてと横に線が入っていないかな？織り物の歴史は長くて、200万年前にはすでにあっただとか。「つるの恩返し」でつるが作ってくれる美しい布も、織り物だよ。

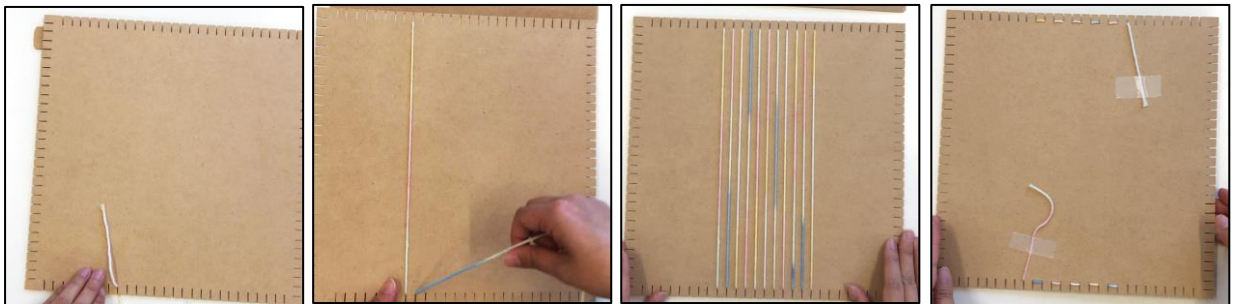
織り物の特徴は、引っ張っても伸びにくいこと！織り物と比べて、編み物（ニット）は伸びやすい作りをしているよ。これは織り物がたてと横にまっすぐ張った糸を使って、編み物は輪っか状の糸をつなげて作っているから。よく伸びるTシャツなどは、実はセーターなどと同じ編み物なんだって。

● 基本の織り方

① 織り機にたて糸をかける

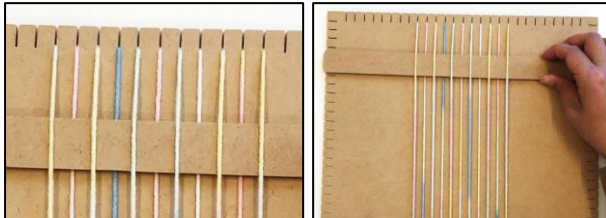
織り機^{おき}の上下^{じょうげ}の切り込み^{きりこみ}を使う^{つかう}。上の切り込み^{うへ}に 5 cm くらい端^{はし}を残^{のこ}して毛糸^{けいと}をはさみ、下の同じ位置^{おな}の切り込み^いに毛糸^ちをはさむ。そのまま隣^きの切り込み^こに引っ掛けて、また上の同じ位置^{おな}の切り込み^いにはさみ、これを好きな幅^すになるまで繰り返^{はば}す。最後^くも 5 cm くらい残^{かえ}して、最初^{さいご}の端^はと一緒に裏側^{うらがわ}にテープ^{てい}で固定^{こてい}しておく。

このとき、毛糸^{けいと}の張り方^ははゆるすぎず、きつすぎないようにしよう。まっすぐ張^はっているけれど、指^{ゆび}で押^おしたら簡単^{かんたん}に動^{うご}くぐらいの張り方^はを目指^{めざ}そう。



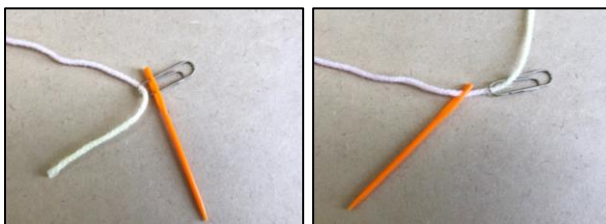
② そうこうをセットする

そうこう^{そうこう}を、たて糸^{たていと}の利き手側^{てがわ}から 1 本目^{ぼんめ}、3 本目^{ぼんめ}、5 本目^{ぼんめ}…と、奇数^{きすう}の目^めをひろいながらくぐらせる。織^おっていく間^{あいだ}、差し込んだ状態^{さしかこんだじょうたい}のまま使^{つか}っていく。



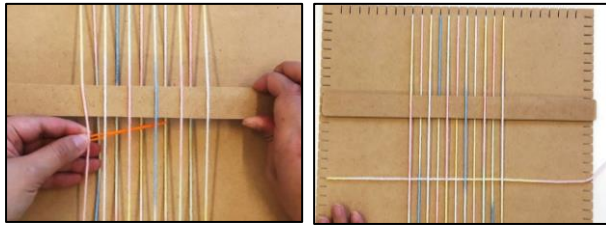
③ とじ針に毛糸を通す

毛糸^{けいと}を 1 ~ 2 m の長さ^{なが}に切り、プラスチック針^{はり}の穴^{あな}に通^{とお}す。まず針^{はり}の穴^{あな}にクリップ^さを差し込み、クリップ^こに毛糸^{けいと}を通してからクリップ^とを引きぬくとやりやすい。両端^{りょうはし}のうち一方^{いっぽう}は短^{みじか}く、一方^{いっぽう}は長^{なが}くしておく。針^{はり}から毛糸^{けいと}がぬけてしまわないように気^きを付けよう。

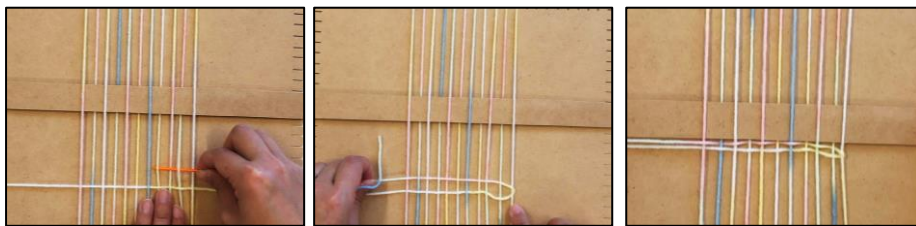


④ よこ糸を通して織っていく

そうこうを持ち上げ、上下の毛糸の間に、利き手と反対の方から横向きに針を通す。
通す位置は、下から10段目の切り込みの位置ぐらい。毛糸の端10cm ぐらいを利き手側に残して引っ張り、通し終わったらそうこうを下ろす。これが1段目。



次は1段目の上に、利き手側から2本目、4本目、6本目…と偶数の目をひろいながら針を通し、糸がたるまないように引っ張る。引きすぎると横幅がせまくなってしまうので、たて糸が引きつらないぐらいにしよう。通せたら一度針を置いて、そうこうをまっすぐ手前に引き、よこ糸同士の間隔を詰めて整える。これで2段目のできあがり。

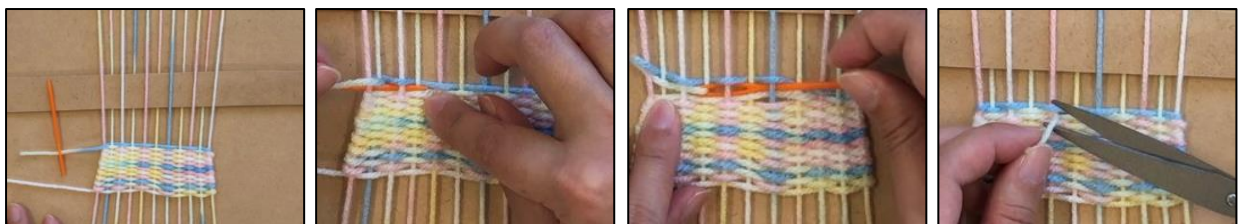


次はまた利き手の反対側からそうこうを持ち上げてよこ糸を通し、そうこうを使って整え、利き手側から偶数の目を拾ってよこ糸を通し…を繰り返す、好きな大きさになるまで続ける。

⑤ 糸がなくなったときは

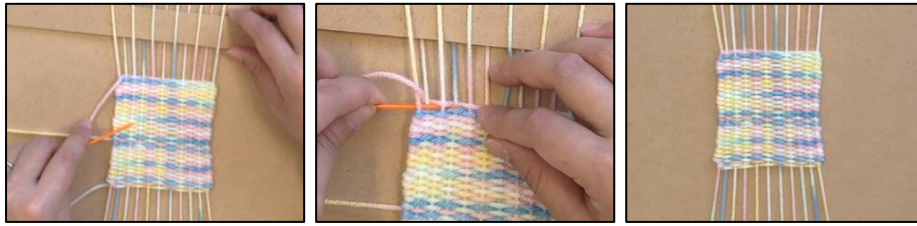
糸の長さが作品の幅よりも短くなったら、新しい糸に変えるために端っこの処理をする。最後に織った段の「一つ前の段」に針をさし、3cm程度織り込んで引き抜く。余った部分をはさみで切り落としたり、端っこの処理が完了。

また新しく1～2mの糸を用意し、最初と同じように端を10cm ぐらい残して織り始める。慣れてきたら糸を1～2mよりも長めにとると、端っこの処理の回数が減って、きれいに仕上がるよ。

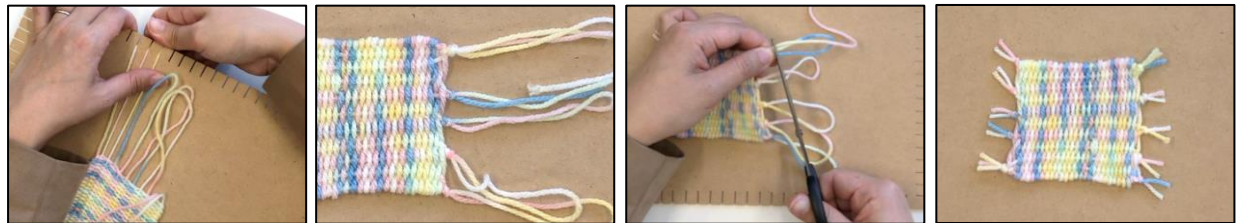


⑥ さいご お 最後まで織れたら

つく おお 作りたい大きになるまで織れたら、⑤とおなじように端っこのしよりの処理をする。



つづ いと しよりの 処理をする。たて糸を切り込みからはず、2 本を一組にして片結びしていく。数が奇数になる場合は、どこか 1 カ所を 3 本一組で結ぶ。全部結び終わったら、端を好きな長さに切りそろえて完成！



これが基本の織り方だよ。細長いものなら、毛糸以外のものを使っても OK。麻ひもやビニールひも、布を細長く切ったものなど、いろいろなそざいで試してみてね。また、たて糸とよこ糸を違う種類のものにしたり、よこ糸を途中で違う素材にしても面白いよ。

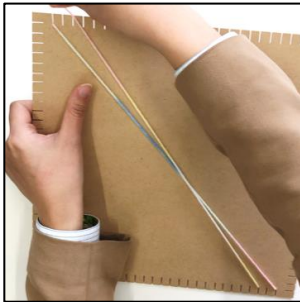
かたち おお 形や大きさも自由に変えられるけれど、じょうげ よゆう 上下は余裕をもってあけておこう。端っこぎりぎりまで織ってしまうと、さいご いと むす 最後なたて糸を結んでしよりの処理するときにながが たいへん 大変だから気を付けよう！

また、今回の教材は、こんかい きょうざい かげやま 蔭山はるみさんの「ダンボール織り機でおしゃれなもの（日本ヴォーグ社）」というほん さんこう 本を参考にしてつく います。いとしまし としょかん 糸島市の図書館（本館）にも置いてあるので、きょうみ ひと 興味のある人はぜひさが みてね。ダンボールを使った織り機や、たくさんのしゅるい こもの つく かた の種類の小物の作り方が載ってるよ。

●丸いものの織り方

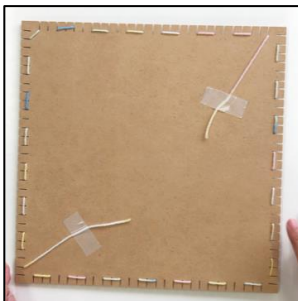
①織り機にたて糸をかける

織り機の四辺の切り込みを使う。まず一番左上の切り込みに5cmくらい端を残して毛糸をはさみ、次は対角線上の、一番右下の切り込みに毛糸をはさむ。次は一つ飛ばして、右下から3番目の切り込みに引っ掛けて、左上から3番目の切り込みににはさむ。続いて左上から5番目、右下から5番目…と、一つ飛ばしでこれを繰り返して、上下の切り込みを使い切ったら、続けて左右の切り込みを使い、ぐるっと一周させる。



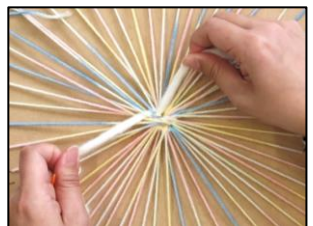
最後も端を5cmくらい残して、最初の端と一緒に裏側にテープで固定しておく。

また、最初に糸をかけた一番左上と、左上から3番目の切り込みにかかっている糸を、余っている糸で結ぶ。ここだけは2本をセットにして、1本として扱う。こうしておかないと、たて糸の数が偶数になってしまって、互い違いに織れなくなるから気を付けよう。



②よこ糸を通して織っていく

①で2本セットにした糸の部分からスタート。たて糸の上と下に交互に針を通して、ぐるっと丸く織っていく。よこ糸の端は10cmくらい残しておく。一周したらよこ糸の両端を持って、ぎゅっと引きしめる。これが1段目。

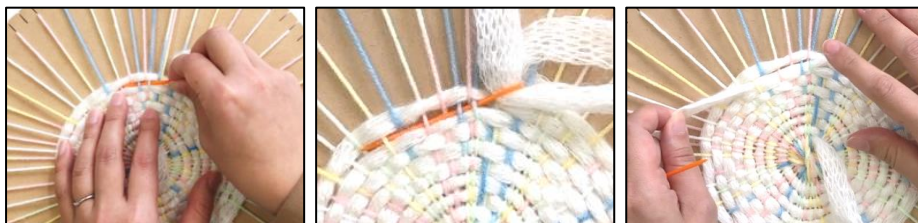


ひ つづ お
引き続き織っていく。このとき、糸の通し方が前の段と上下互い違いになっていること
かくにん 確かめる。たが ちが 互い違いになっていない場合は、どこかでたて糸をすくいそこねているので、
かくにん 確認して糸を通しなおす。す おお く かえ
好きな大きになるまで、これを繰り返す。



③最後まで織れたら

つく おお
作りたい大きになるまで織れたら、端っこの処理をする。織り終わりのよこ糸は、
き ほん つく かた おな まえ だん あいだ はり
基本の作り方と同じように、前の段との間に針をさして3cm くらい糸を通す。



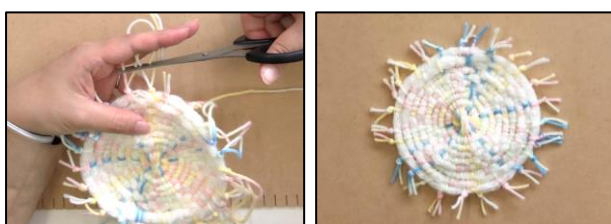
つぎ いと しより
次にたて糸の処理をする。たて糸を切り込みから外し、2本をひと組にして片結びして
く かず きすう ばあい
く。数が奇数になる場合は、どこか1カ所を3本一組で結ぶ。



つづ お はじ
続いて織り始めのよこ糸の端を針に通し、針を中心付近にさして裏面に引き抜く。裏面
でたて糸を3cm くらいすくったらカットする。



いと はし き
たて糸の端を切りそろえて完成！



● 輪っかの織り方（ネックウォーマーなど）

① 織り機にたて糸をかける

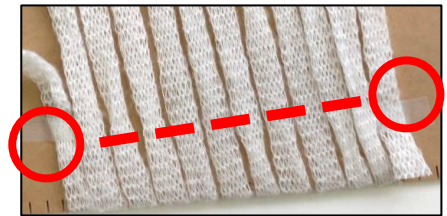
織り機の切り込みは**使わない**。切り込みに糸をはさんでしまうと、最後に織り機から外せなくなるので気を付けよう。切り込みに糸が引っかかってしまう場合は、ガムテープなどを貼って切り込みをふさいでおいても OK。今回は織り機の両面を使用するよ。最初に 10 cm くらい端を残して裏面にテープで貼り付けたら、織り機にたて糸をぐるぐる巻き付けていく。これを好きな幅になるまで繰り返す。最後も 10 cm くらい残して、最初の端と一緒に裏側にテープで固定しておく。



必ずたて糸の最初と最後の端のテープで貼る位置を合わせておき、どこから見てもたて糸の本数が同じになるようにしておく。

（右の図の○がテープの位置、×はたて糸がない部分）

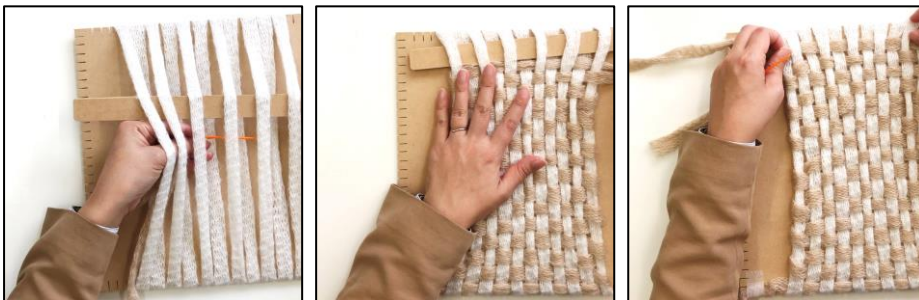
×①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪×

② そうこうをセットし、よこ糸を通して織っていく

基本の織り方と同じように、そうこうをセットしてよこ糸を通して織っていく。基本の織り方と違うのは、よこ糸を通して始める位置。織り機の一番下ぎりぎりからスタートし、一番上ぎりぎりまで織る。織り進めていくと途中でそうこうがじゃまになってくるので、最後の方は外して OK。すくう糸を間違えないように注意しよう。

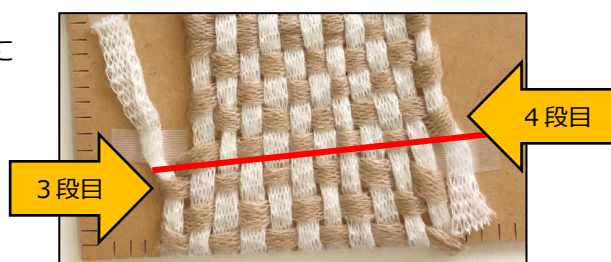


おもてめん ぜんぶ お
表面が全部織れたら、次は裏面に進む。よこ糸は切らずに、表面から続けて使おう。
そうこうをセットしなおして、また上下ギリギリまで織る。このとき、表面の最後に織
った段と、裏面の最初に織る段が互い違いになるようにしよう。



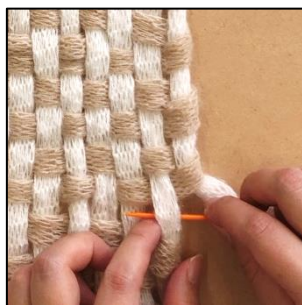
たて糸の端がある部分は、よこ糸の目の数が同じに
なるように注意しよう。

右の図では、下から3段目までは左端のたて糸を
使って、4段目からは右端のたて糸を使っているよ。



③最後まで織れたら

作りたい大きさになるまで織れたら、基本の織り方と同じようによこ糸の端っこの
処理をする。続いてたて糸の最初と最後の端っこの処理をする。固定していたテープをは
がし、端の糸を針に通したら、よこ糸の端と同じように、近くの目をすくって織り込む。



端の処理が全て終わったら、織り機から外す。目の詰まり方が均等になるように、手で
整えたら完成！

